

学校運営計画(4月)		評価(3月)	
学校運営方針	知・徳・体の調和的発達を図り、明朗で礼儀正しく自らを律し、国家・社会に貢献できる有為な人材を育成する		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>「わかる授業」を目標とした授業改善については、少人数授業がAL型授業で有効であり生徒が主体的に学びを深めることに効果が見られた。今後は生徒の学習時間増加、学力向上のために、課題を質量ともに計画的に課し、生徒がより学習効果を感じるものにする。</p> <p>体育祭や文化祭等の行事では、生徒が主体となる場面を増やしてリーダー育成や連帯感・達成感を味わわせ、生徒が成長する機会を設ける。すでに行っている生徒会や各種委員会の取り組みを充実・発展させることで学校の活性化につなげる。</p> <p>生徒指導面では人間関係の構築がうまくできない生徒が少なからずいる現状が確認できている。教師間の情報共有を今まで以上に強化し、一人一人がカウンセリングのスキルアップを図るための研修に参加したりするなど研修課と連携した取り組みを行う。</p> <p>昨年度の第7学区中学生の急激な減少に伴い、一般入試では定員を満たすことができなかった。今年度は定員割れの解消に向けて、本校の魅力を中学生や地域に確実に伝える効果的な広報活動を実施する。中学生体験入学では、体験講座の内容の工夫や、在校生との交流の充実など、他校の取り組みも参考にしながら企画・検討する。</p>	<p>生徒の可能性を信じ、あらゆる場面を通して鍛える教育活動の展開</p> <p>主体的に学ぼうとする態度を身に付け、自ら進路を切り拓いていく生徒の育成</p> <p>強い精神力と他者を思いやる心を持ち、適切な人間関係を築ける生徒の育成</p> <p>地域との連携</p> <p>効果的な広報活動の展開</p>	<p>具体的目標</p> <p>(ア) 探究活動を取り入れた教育活動を通し、生徒が発表する機会を増やす (イ) 小論文コンテスト等を通し、生徒が自分の考えを文章で表現できる力を育てる (ウ) 生徒会活動を活発にし、生徒が主体的に学校行事を運営する場面を増やす (エ) 県や外部団体が主催する事業に積極的にチャレンジさせる (オ) 生徒の個性を伸ばし、教育活動の多くの場面で活躍できる機会を設ける</p> <p>(ア) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、学習習慣を確立させる (イ) 進路指導やキャリア教育を充実させ、進路実現に向けて努力する態度を育てる (ウ) より高度な資格取得にチャレンジする態度を育成する (エ) 国際理解教育を推進し、視野を広げ多様性を理解する態度を育成する (オ) 公務員を目指す生徒に対する指導を強化する</p> <p>(ア) 挨拶や身だしなみなどの礼節指導や清掃指導を徹底する (イ) 公共の場におけるマナーや集団としての規律やルールを守る態度を育成する (ウ) 生徒の言葉遣いや声の大きさなど、学びの場にふさわしい言語環境を整える (エ) 他者を思いやる心、失敗体験を通して挫折に負けない強い心を育成する (オ) いじめや問題行動を未然に防止し、適切な人間関係を築く力を育成する</p> <p>(ア) PTA、同窓会、地方公共団体等との連携を強める (イ) 地域の大学・短大・専門学校や産業界との連携を強める (ウ) 日本経済大学との提携を強化し、他の大学とも提携を目指した交流を促進する (エ) 地元企業との協働による教育実践に取り組む (オ) 地域の現状や課題に関心を持ち、地域の発展に貢献しようとする生徒を育てる</p> <p>(ア) 地元の中学校や小学校との連携や交流を促進する (イ) 中学校での進路説明会でのプレゼンテーションを魅力あるものに工夫する (ウ) 中学生の体験入学の内容を改善し、本校への志願者の増加へとつなげる (エ) 広報誌やホームページの内容を充実させる (オ) 新聞、テレビ等マスメディアを生かした広報戦略を強化する</p>	
	<p>生徒の可能性を信じ、あらゆる場面を通して鍛える教育活動の展開</p>	<p>探究活動を取り入れた教育活動を通し、生徒が発表する機会を増やす</p> <p>小論文コンテスト等を通し、生徒が自分の考えを文章で表現できる力を育てる</p> <p>生徒会活動を活発にし、生徒が主体的に学校行事を運営する場面を増やす</p> <p>県や外部団体が主催する事業に積極的にチャレンジさせる</p> <p>生徒の個性を伸ばし、教育活動の多くの場面で活躍できる機会を設ける</p>	<p>具体的方策</p> <p>・授業や総合的な学習(探究)の時間、特別活動等において、自分の意見等をできるだけ原稿なしで堂々と述べられるように指導をし、生徒に経験を積み、労いながら、プレゼンテーション能力を高める。</p> <p>・日頃の学習の成果を発表する場として、各種コンクールやコンテストへの応募・出品について各科で計画的に取り組む。</p> <p>・探究活動を通して、自分の考えを深めたり論理的にまとめたりする力を身に付けさせ、的確に伝えるための表現力を養わせる。</p> <p>・生徒会執行部や各種委員会を中心に、学校行事等の企画・運営や諸活動に取り組ませ、リーダー育成を推進する。</p> <p>・学校行事等をより充実した内容にすることによって、課題を解決しながら達成感を得させる。</p> <p>・高校生知の創造力育成セミナー等、県や外部団体主催の研修会等への生徒の積極的な参加を募る。</p> <p>・朝倉市などの地域公共団体等が募集するイベントに積極的に参加させ、地域経済への活性化に寄与する態度を養う。</p> <p>・各部活動の魅力伝える紹介の工夫をしたり、体験入部期間を設けたりすることで、1年生の積極的な入部を促す。</p> <p>・部長会を定期的に開催し、規律ある行動や安全面に配慮した行動がとれるように促すとともに顧問と生徒の教育相談の充実を図る。</p>
	<p>主体的に学ぼうとする態度を身に付け、自ら進路を切り拓いていく生徒の育成</p>	<p>基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、学習習慣を確立させる</p> <p>進路指導やキャリア教育を充実させ、進路実現に向けて努力する態度を育てる</p> <p>より高度な資格取得にチャレンジする態度を育成する</p> <p>国際理解教育を推進し、視野を広げ多様性を理解する態度を育成する</p> <p>公務員を目指す生徒に対する指導を強化する</p>	<p>・週末等の課題に加え、各教科による工夫した取組(例:英単語コンクール)を実践することにより、生徒の家庭学習時間を増加させる。</p> <p>・「卒業時の学習到達目標」を中心としたPDCAサイクルを継続し、達成度・学力の伸長を測り、指導の改善に活かす。</p> <p>・職業講話や校内大学説明会等を中心に、あらゆる場面でのキャリア教育を推進し、進路目標を早期に設定させる。</p> <p>・目標に応じた進路指導(進学・公務員・資格取得)を計画し、第一希望進路実現を目標に指導内容を充実させる。</p> <p>・資格取得までの短期的目標と長期的目標を明確にさせ、機を逃さずにチャレンジさせることで達成感を味わわせる。</p> <p>・目標達成に向け継続して学習に取り組むことで学力と実務能力の向上させ、忍耐力や精神力の向上を図る。</p> <p>・世界的情勢に関心を持ち、多様な文化や価値観があることを実感し、他国に対する理解を深める。</p> <p>・韓国釜山大学校や日本経済大学の留学生と積極的に交流させることで、国際社会への関心を持たせ、多様性を理解する心を養わせる。</p> <p>・公務員希望者に対し、3年間をおとしたガイダンスや講座を企画し、早期に対策を行い、現役合格を目指すさせる。</p> <p>・質の高い指導を行うために、専門学校等の研修会に積極的に参加したり、専門学校等と連携して対策講座を開講したりする。</p>
	<p>強い精神力と他者を思いやる心を持ち、適切な人間関係を築ける生徒の育成</p>	<p>挨拶や身だしなみなどの礼節指導や清掃指導を徹底する</p> <p>公共の場におけるマナーや集団としての規律と役割を実践する力を育成する</p> <p>生徒の言葉遣いや声の大きさなど、学びの場にふさわしい言語環境を整える</p> <p>他者を思いやる心、失敗体験を通して挫折に負けない強い心を育成する</p> <p>いじめや問題行動を未然に防止し、適切な人間関係を築く力を育成する</p>	<p>・さまざまな教育活動において、全職員が共通理解のもと、社会人としての立ち振る舞いを職員自らが模範となり、指導を行う。</p> <p>・生徒相互に人間関係を構築させたり、清掃活動をはじめ行動規範を身に付けさせたりすることで、道徳教育の推進を図る。</p> <p>・美化コンクールや校外清掃及び校内の落ち葉拾いなどを行うことで、生徒の美化意識高揚を図る。</p> <p>・生徒自らが健康管理の徹底を図れるように、ポスター掲示をはじめとする情報発信等を行い、その支援を行う。</p> <p>・ノーチャイムデーの設定により時間厳守の指導を行う。また言葉遣い等に関する指導は全員で行い、指導方法について工夫・改善していく。</p> <p>・様々な啓発活動を通して、情報モラルや交通安全等の大切さを理解させるとともに、自分自身の行動を考えさせ、規範意識の向上に努める。</p> <p>・授業や行事等で接客や案内等を担当させ、敬語や謙譲語の正しい言葉遣いを身に付けさせる。</p> <p>・教育活動のあらゆる場面で、発表しやすい環境づくりや、表出意欲を高める集団づくりを心がける。</p> <p>・生徒の変化に気づいたり、気になる点がある場合は、担任や教育相談委員会等に相談する体制を整える。また、面談週間を設け、生徒との対話を深める。</p> <p>・教育活動全般を通して、協調性や仲間づくりの大切さを考えさせる。</p>
<p>地域との連携</p>	<p>PTA、同窓会、地方公共団体等との連携を強める</p> <p>地域の大学・短大・専門学校や産業界との連携を強める</p> <p>日本経済大学との提携を強化し、他の大学とも提携を目指した交流を促進する</p> <p>地元企業との協働による教育実践に取り組む</p> <p>地域の現状や課題に関心を持ち、地域の発展に貢献しようとする生徒を育てる</p>	<p>・PTA総会、振興会総会の内容を充実・発展させ参加者を増やすとともに、本校の教育活動への関心を高めてもらう。</p> <p>・学校とPTA、同窓会との連携を密にし、健全な関係の維持発展と親睦に努める。</p> <p>・「総合的な学習・探究の時間」で外部講師による職業等に関する講演を行い、生徒のキャリア形成を促す機会とする。</p> <p>・社会人招聘事業などを通して、社会で求められる専門性に触れさせ、職業人として必要な知識・技術の習得を目指す。</p> <p>・日本経済大学の協力や施設の利用により、生徒の活発な活動に繋げ、心身の成長と自己有用感を育てる。</p> <p>・地元大学と連携し、大学説明会や講義を効果的に行い、上級学校での学びを知ることで自身のキャリアプランに役立てる。</p> <p>・公共職業安定所による職業に関する講義を行い、幅広い職業に触れ、社会人として望ましい態度を育む機会とする。</p> <p>・商品開発や販売活動に取り組むことで、地域経済の活性化に寄与する。</p> <p>・様々なボランティアへの積極的に参加を促すと同時に、自らが支援の輪を広げる力を育成する。</p> <p>・生徒会執行部や各種専門委員会が中心となり、地域清掃活動等の企画・運営を行わせる。</p>	
<p>効果的な広報活動の展開</p>	<p>地元の中学校や小学校との連携や交流を促進する</p> <p>中学校での進路説明会でのプレゼンテーションを魅力あるものに工夫する</p> <p>中学生の体験入学の内容を改善し、本校への志願者の増加へとつなげる</p> <p>広報誌やホームページの内容を充実させる</p> <p>新聞、テレビ等マスメディアを生かした広報戦略を強化する</p>	<p>・パソコン講座や小学生向け講座を生徒主体で実施することで、本校や本校生徒に親しみを持ってもらう。</p> <p>・中学校出前授業を通して、本校の教育活動を多くの中学生に周知し、専門教科に対する疑問や不安を払拭する。</p> <p>・中学生の興味・関心を高め、本校の魅力が十分に伝わるようなプレゼンテーションを実現する。</p> <p>・アンケート調査の結果を基に、中学生や保護者のニーズに対応したプレゼンテーションになるように改善を図る。</p> <p>・第7学区の中学校の行事等の情報を収集し、開催日を工夫したり、中学1年生から参加できる内容を企画したりする。</p> <p>・中学生と本校生徒が対話・交流する機会を設けるとともに、文化祭と同時開催にする等本校に対する関心を高めるようにする。</p> <p>・広報誌を発行する目的を明確にし、中学生や保護者に情報を発信し、本校に対する理解を深めさせる。</p> <p>・ホームページの内容を充実させ、リアルタイムな情報発信を行うための体制を整える。</p> <p>・学校行事を含め、校内や校外での生徒の活動の状況を広く伝えるために、マスメディアを利用する。</p> <p>・新しい広報媒体としてSNSを活用した広報活動を検討する。</p>	